2014年3月7日（第1版）

医療機器承認番号：22600BZX00092000

機械器具 21 内臓機能検査用器具
高度管理医療機器 重要パラメータ付き多項目モニタ 33586003

「生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ」の構成品

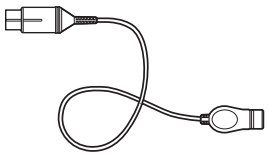
観血血圧ケーブル BD TypeV
観血血圧ケーブル EDWARDS TypeV

【禁忌・禁止】
接続する生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。

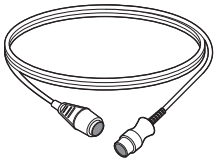
【形状、構造及び原理等】

1. 構成

観血血圧ケーブルの長さは4mです。



12ピン 観血血圧ケーブル BD
HXA-VIBP-BDCL



観血血圧ケーブル
EDWARDS TypeV
HXA-VIBP-EDCL

【使用目的、効能又は効果】

本ケーブルは、モニタ本体または観血血圧モジュールとIBPセンサとを接続するために使用します。

【品目仕様等】

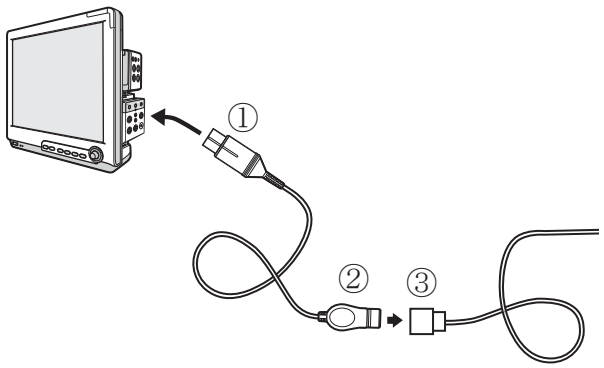
接続する機器の添付文書を参照してください。

【操作方法又は使用方法等】

使用前には、必ず記載されたすべての注意事項をお読みください。

1. ケーブルの①を生体情報モニタに接続します。
2. ケーブルの②を対応する圧力センサ③に接続してください。

圧力センサの使用方法については、圧力センサまたは生体情報モニタの取扱説明書を参照してください。



【使用上の注意】

- 使用前にケーブルおよびリードクリップを確認してください。破損、詰まり、劣化または目視確認できる汚れがある場合は、使用しないでください。
- 院内の廃棄手順に従い廃棄してください。
- 必ず指定された機器でのみ使用してください。
- ケーブルとセンサの接続は、正しい位置に合わせて接続してください。
- 生体情報モニタのコネクタへの接続は、コネクタのマークを合わせてください。無理な挿入はしないでください。
- ケーブルは、ケーブルコネクタを持ち、抜いてください。適切に抜かないと使用寿命が短くなります。
- 測定していないとき、ケーブルは生体情報モニタから抜いてください。
- 測定後は、ケーブルを生体情報モニタから抜き、適切に保管してください。
- 液体に浸さないでください。
- 洗浄中および消毒中はピンが湿らないように注意してください。
- 損傷を避けるため、必要な場合にのみ院内の方針により規定された方法で消毒してください。
- 洗浄剤および消毒剤は推奨されたもの以外使用しないでください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

	使用環境	保存環境
温度範囲	0～40℃	-30～70℃
湿度範囲	15～95%	10～95%

【保守・点検に係る事項】

洗浄

1. 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
2. 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

消毒

推奨する消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール70%

1. 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布でおこなってください。
2. 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

【包装】

1本単位で包装

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地
カスタマサポートセンター
0120-103-203（24時間受付/通話料無料）
外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics CO.,LTD.(中国)
シンセン マインドレー バイオメディカル
エレクトロニクスカンパニーリミテッド
販 売 元：オムロンコーリン株式会社
〒112-0002 東京都文京区小石川一丁目12番地14号
日本生命小石川ビル

046-006128-00(1.0)

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

4065178-5A